

安全衛生委員会議事録（第11回）

日 時	令和7年2月19日（水） 午後1時30分～午後2時30分	
場 所	シルバー人材センター会議室	
出席者	委員長	信田光隆（事務所長）
	委員	村瀬敏之（産業医） 埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員） 江口正美（派遣会員）、三浦大輝 富田泰弘（衛生管理者）
議事・報告	<p>1 あいさつ</p> <p>当院のインフルエンザの感染者は1月中旬でほぼ終了し、新型コロナウイルスの感染者は一日に2名程度になる。最近は軽症ではあるが、感染には注意していただきたい。</p>	
	<p>2 花粉症対策について</p> <p>スギ花粉の飛散は2月から4月頃に多く飛散するため、マスク等を活用して予防すると良い。また、花粉症の治療には抗ヒスタミン薬などを服用する対処療法や、免疫療法があるので、医師に相談していただきたい。</p> <p>・委員各自のアレルギー対策について紹介してもらい参考にさせていただいた。</p>	
	<p>3 たった一度の転倒で寝たきりになるいことも</p> <p>転倒事故の起こりやすい箇所は？</p> <p>高齢者の転倒は、骨折等の大怪我に繋がりがやすく、それが原因で介護が必要な状態になることもある。そのため、日常生活において転倒リスクの高い箇所には注意をしていただきたい。</p>	
	<p>4 令和7年度の派遣会員の代表者及び安全衛生委員会委員の推薦依頼文書の送付について</p> <p>委員の任期は4月1日から3月31日までの1年とあり、委員は労働者の過半数を代表する者が推薦し、事務所長が指名した者と規定されているため、派遣会員に推薦依頼文書を送付する。</p>	
決定事項	<p>今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、健康維持管理及び怪我防止についての啓発をする。</p>	

産業医指導

2月から4月上旬にかけてスギ花粉の飛散量が多くなるので、薬を服用するなどの治療を受けていただきたい。なお、薬の服用期間は、テレビの天気予報等から花粉飛散量を確認して飲み続けるようにしていただきたい。

骨密度は、年齢と共に低下となり、20代を100とした場合、80以下になると骨粗しょう症の疑いになる。骨はカルシウムの摂取、日光浴、衝撃により強くすることができる。簡単な体操としては、直立して、つま先立ちから踵を落とすことで、踵に衝撃が加わり、骨の強化になるので取り入れていただきたい。